

そもそもTPPって何?

太平洋周辺の米国、中国、東南アジア諸国、オーストラリア、ニュージーランドなどが参加して、関税をなくして自由に貿易を行おうとするものです。

日本も菅首相が6月には参加の表明をする発言をして賛否の議論が高まっています。

一見良い事のようにみえますが問題多しといえます。



糸島の農業、私達の生活にどう影響するの?

外国から安い農産物が入ってくれば消費者は喜ぶかもしれませんが。しかしそれによって農家の廃業が増え、**食料自給率は13%**にまで下がる予測がなされています。食料の多くを外国からの輸入に頼る事が独立国として正常だと思えますか。

輸出する国の事情により、高い値がつけられたり、輸出ストップという事態も十分に考えられます。今の安い価格でこの先ずっと輸入出来る保障なんて全くありません。

農業の持つ多面的機能って?

農業が維持されてゆく事によって、私達はいろいろな恩恵を受けている事をご存知ですか。

安全で安心出来る農産物の供給は勿論の事ですが、これ以外にも沢山あります。

1. 田んぼに水をためる事で水源の確保
2. 自然環境の保全
3. 良好な景観の形成
4. 気温の緩和や洪水防止
5. 伝統文化の伝承等々言われてみれば、なるほどそうなんだと理解されると思います。

ちなみに糸島全体での農業生産額は約160億円で、この農業が持つ多面的機能を金額に換算すると実に約83億円との試算があります。

これだけ貢献している地域農業が今後も継続してゆけるために、私達はもっと**沢山の地元農産物**を買い支え応援してゆきましょう。

誇れる古里・糸島に
新しい風を!
皆様のご意見、ご要望を
お聞かせ下さい。

小島忠義事務所 TEL.092-322-0155
携帯:090-7441-9689

〒819-1112 糸島市浦志2-5-20 FAX:092-322-4900
E-mail:info@kojima-tadayoshi.com HP:http://www.kojima-tadayoshi.com



小島忠義の
議会通信

“かけ橋”

No.17



東日本大震災の被災者にお見舞い申し上げます

予想だにできなかった東日本巨大地震と津波災害。福島原発をも壊滅的な状態にさせた今回の地震と津波は、我々人間にいくつもの教訓を与えました。

備えあれば憂いなしというが、自然の脅威に対してもうこれで大丈夫だというものはなく、どれだけの対策を施していても十分ではないという事。文明の利器を過信するなかれという事。最先端技術の粋を集めたはずの原子力発電所でさえ、一つ間違えば人類に多大の被害を及ぼす代物になるのです。

**頑張れ日本!
立ち上がれ東北!!**



大変な被害をもたらしたこの大震災も、よく考えてみると、人間のおごりに対する警鐘だったようにも思えます。

大震災による被害の全容や原発による放射能汚染の収束時期がいまだにはっきりしない中、被害に遭われた地域及び住民の方々が一日も早く元気を取り戻し、元の生活に戻れる日がくる事を願うと同時に、亡くなられた方のご冥福を皆さんと共に心から祈りたいと思います。

がんばれ日本!立ち上がれ東北!!

H.23年度の当初予算の概要と特徴

一般会計の当初予算総額は317億2300万円で昨年より9.8%の増加です。景気低迷が続く中、今年度も国からの仕送りとみえる地方交付税を始めとする補助金への依存度が高まり、歳入全体の約66%を占めております。

予算の特徴は“いとしま元気づくり”を本格始動させ、“超少子高齢化社会への挑戦”をテーマに掲げ、いとしまブランドづくりを推進させる事で、糸島市の活性化を図ろうというものです。子育て支援策の強化と健康づくり元年のスタートにより、子育てしやすいまちと高齢者が元気なまちを目指します。

